

授業概要

- ・保育士の専門性をもとに行う子育て支援について理解する。
- ・演習を通して、保護者や家庭への支援について具体的に理解する。
- ・職員間の連携や他職種他機関との連携のポイントを学ぶ。
- ・社会資源の活用について、その方法や特徴等、具体的に理解する。
- ・さまざまなケースをもとに子どもや保護者、家庭の状況を把握し、具体的な支援方法について考える。

授業計画

第 1 回	子どもの保育とともにを行う保護者の支援
第 2 回	日常的・継続的なかわりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成
第 3 回	保護者や家庭のかかえる支援のニーズへの気づきと多面的な理解
第 4 回	子どもおよび保護者の状況・状態の把握
第 5 回	支援の計画と環境の構成
第 6 回	支援の実践・記録・評価・カンファレンス
第 7 回	職員間の連携・協働
第 8 回	社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働
第 9 回	保育所等における支援
第 10 回	地域の子育て家庭に対する支援
第 11 回	障害のある子どもおよびその家庭に対する支援
第 12 回	特別な配慮を要する子どもおよびその家庭に対する支援
第 13 回	子ども虐待の予防と対応
第 14 回	要保護児童等の家庭に対する支援
第 15 回	多様な支援ニーズをかかえる子育て支援家庭の理解
第 16 回	期末レポート

到達目標

- ・保育士の行う保育の専門性にもとづいた、子育て支援について理解することができる。
- ・保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解し、身につけることができる。
- ・保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を演習やロールプレイ等を通して具体的に理解し、身につけることができる。

履修上の注意

- ・毎回、グループディスカッションやロールプレイといった演習を行う演習中心の授業である。
- ・遅刻は演習実施の妨げになるので、10分までとする。
- ・演習には積極的に参加すること。

予習・復習

予習：事前に授業範囲のテキストを読んでもらうこと
復習：授業内で指示するので、各自で取り組むこと

評価方法

期末レポート(60%)、授業時のレスポンス・ペーパーの内容(25%)、授業で実施する演習への参加度(15%)

テキスト

- ・教科書名：新・基本保育シリーズ『子育て支援』
- ・著者名：公益財団法人児童育成協会（監修）、西村重稀、青井夕貴（編集）
- ・出版社名：中央法規
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-8058-5799-1）